

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	林田理恵
専門分野 Academic Field	ロシア語学・ロシア語教育論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①ロシア語アスペクト研究 ②ロシア語学習者中間言語分析 ③文科省グローバル化に対応した外国語教育推進事業－高校ロシア語教育プロジェクト基盤研究
<p>① Ju.S.マシロフ著 <i>Очерки по аспектологии</i> の翻訳を完成，ひつじ書房より「アスペクト論」（全 4 章，421 p.－林田理恵・金子百合子訳）を 2018 年 9 月に刊行。</p> <p>② 国内外で初となる日本語を母語とする学習者データに基づくロシア語学習者コーパス構築に向け，30 年度は 1) 収集したデータのアノテーションに向け，データテキスト及び学習者の属性情報タグ，品詞情報タグ，誤用情報タグの分類・構成について，前年度の調査・ヒアリングで得た知見を基に検討し，アノテーション・ガイドライン試案設計を行った。2) 前年度に引き続き，TORFL 作文試験結果についてデータ電子化作業を進めた。3) National Research University, Higher School of Economics が公開している Russian Learner Corpus (= RLC, http://web-corpora.net/RLC) の下位コーパスとして，日本語母語学習者のデータ利用に基づくロシア語学習者コーパス・パイロット版 JRFLC Corpus を開設，上記作業終了分をデータとしてアップロードした。</p> <p>③ 平成 30 年度文部科学省受託研究事業・グローバル化に対応した外国語教育推進事業について，「社会に開かれたロシア語教育の確立：地域貢献のためのロシア語学習、カリキュラム・マネジメントと学習評価、高大接続」という研究課題の下，研究担当者として主に北海道札幌国際情報高等学校との高大接続事業に参画した。2018 年 7－8 月に同校での「ロシア語関係での出張授業・公開授業、入学者選抜方法に CEFR に準拠した外部検定試験を活用する可能性の検討」等を具体項目とする事業計画案を立案，11 月に公開講義「ことばと文化」を同校・国際文化科 1,2 年生 160 名を対象に実施した。12 月にロシア語教育研究集会 2018 にて担当した高大接続事業について報告した。2019 年 3 月末刊行予定の当事業最終報告書に上記活動報告「高校と大学をつなぐとは－公開講義@北海道札幌国際情報高校の記録より－」を掲載予定。</p> <p>④ 平成 29 年度文部科学省受託研究事業・外国語教育強化地域拠点事業について，「地域に貢献するロシア語人材育成につながる教育課程編成を展望した，ロシア語学習指導案・評価法確立のための基盤研究」と題する事業成果最終報告を『ロシア語教育研究』第 9 号に上梓，報告書の統括及び巻頭報告「新機軸をめざす高校ロシア語課程－文科省拠点事業ロシア語班・1 年間の軌跡－」を執筆掲載した。</p>	